

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年6月3日			
平成15年度	事業コード	23130	電話	042 - 751 - 9141
担当部課名	消防本部	警防	課	
事務事業名	消防車両維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざして	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	63以前年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防組織法、道路交通法、車両運送法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
災害出場及び各種業務で運用する消防車両等を適正に維持管理することを目的とする。	市民
	対象数 620000
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
常備消防車両(106台)の継続検査、法定点検等車両修繕、保険料及び燃料費について、適切かつ効率的に維持管理を実施した。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	目標達成率	常備消防車両の維持管理を行い災害活動時に車両に係る故障がない場合は100%とする。	車両が適正に維持管理され運用されていたかを示す。	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	30,245	34,902	38,333	71,159	51,159
	人員・時間数	2・800	2・800	2・800	2・800	2・800
	人件費	3,264	3,264	3,328	3,328	3,328
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	33,509	38,166	41,661	74,487	54,487
特定財源		0	0	0	0	0
対象数		600	610	620	620	620
対象の単位あたり経費		55.8	62.6	67.2	120.1	87.9

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	常備消防車両の維持管理を適正に実施した。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 消防車両等の緊急車は、災害活動上必要不可欠である。火災・救急をはじめとする災害は、年々増加傾向にあり、今後更なる消防車両の消耗や経年による劣化が考えられるため必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	現場災害活動の根底となる消防車両整備等の維持管理は必要な事業である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	消防車両は日々点検を行い維持管理に努めている。災害以外の車両を使用する各業務については、極力統一して行い効率的に行っている。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市内の各署、分署に適正に車両が配置していることから、均等なサービスが図られる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 火災・救急をはじめとする災害は、年々増加傾向にあり、今後更なる消防車両の消耗や経年による劣化が考えられるため、向上の余地はない。	手段	経費削減に努める必要はあるが、車両継続に係る経費等が含まれており、消防車両維持管理費を削減することは困難である。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 他の自治体においても、同様の事業を実施しており妥当である。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 市民の安全を守るために必要不可欠であり、今後も事業を継続的に進める。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--